

9月定例会の予定 ※日程は変更となる場合があります。

9月5日	本会議（招集日）
9月10日～12日, 16日	本会議（市政一般質問）
9月17日～19日, 22日	常任委員会
9月24日	特別委員会
9月26日	本会議（委員長報告等）

人事

次の人事案件について、同意することに決定しました。

▶副市長

渡部 貴徳 氏（新任）

▶公平委員会の委員

塩田 淑文 氏（新任）

陳 情

委員会審査を行った陳情は、次のとおりです。

- ▶スケートボードパーク設置に関する陳情（総務委員会）
- ▶長崎市における戦略的デジタル化と大胆な人員最適化による財政健全化と市民サービス向上に関する陳情（総務委員会）
- ▶被爆80周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に関する陳情（教育厚生委員会）

議会の動き

▶永年勤続表彰

全国市議会議長会定期総会において永年勤続表彰を受けた次の議員に対し、表彰状を伝達しました。

15年以上表彰 相川 和彦議員

10年以上表彰 山口 まさよし議員、中里 泰則議員、山崎 猛議員、
木森 俊也議員、大石 ふみき議員

▶新規採用職員の傍聴（6月12日～17日）

議会制度について基礎的な知識を習得し、地方自治への理解を深めることを
目的として、新規採用職員の本会議傍聴研修が実施されました。



議員提出議案

次の議員提出議案2件を可決しました。なお、意見書及び決議は関係行政庁等に提出または送付しました。

▶女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

意見書の内容はホームページで
ご覧になれます。



▶被爆80周年の決議

80年前の8月9日午前11時2分、私たちのまち長崎で1発の原子爆弾が炸裂した。すさまじい熱線、爆風、放射線によって、まちは一瞬のうちに廃墟となり、約15万人もの人々が死傷し、今なお、心身に深い傷を負った多くの方々が苦しみ続けている。この未曾有の悲劇から、「私たちは長崎を最後の被爆地に」と誓い、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきた。

この80年間、長崎市は市民と先人たちのたゆまぬ努力により緑豊かな国際文化都市として復興を遂げてきた一方で、被爆者等の苦痛や被爆体験者の救済、核兵器廃絶への取り組みは終わりを見えていない。被爆者の平均年齢は高まり、彼らが刻む「人類への警告」としての証言を次世代に継承することは急務となっている。

また、世界の核兵器廃絶を巡る状況は厳しさを増している。国際社会の分断が深刻化しており、来年開催の核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議において、3回連続で最終文書の合意に至らないのではないかと危機感を強めている。一方で、核兵器禁止条約の批准国は増加し、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞の受賞など核兵器の非人道性を訴える声は広がりを見せている。

被爆80年に当たり、長崎市議会は市民総意のもとに、ここに改めて決意する。

私たちは被爆地の市民として、被爆者が経験した惨状の記憶を広く世界に伝えとともに、次世代に継承し、核兵器廃絶への行動を促す責務を果たしていかなければならない。

犠牲になられたすべての方々に心からの哀悼の意を表するとともに、国際社会と連携し、核兵器が完全に廃絶されるその日まで、全力を尽くしていく。

以上、決議する。



次号：令和7年11月1日発行予定